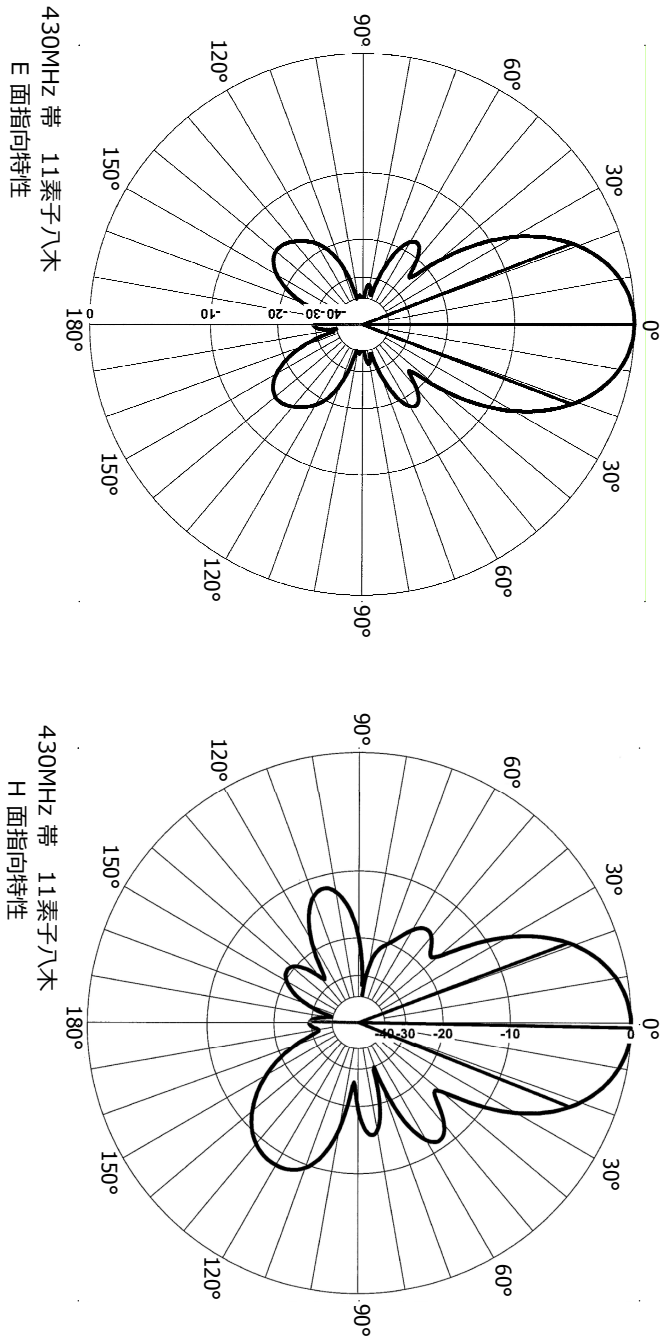
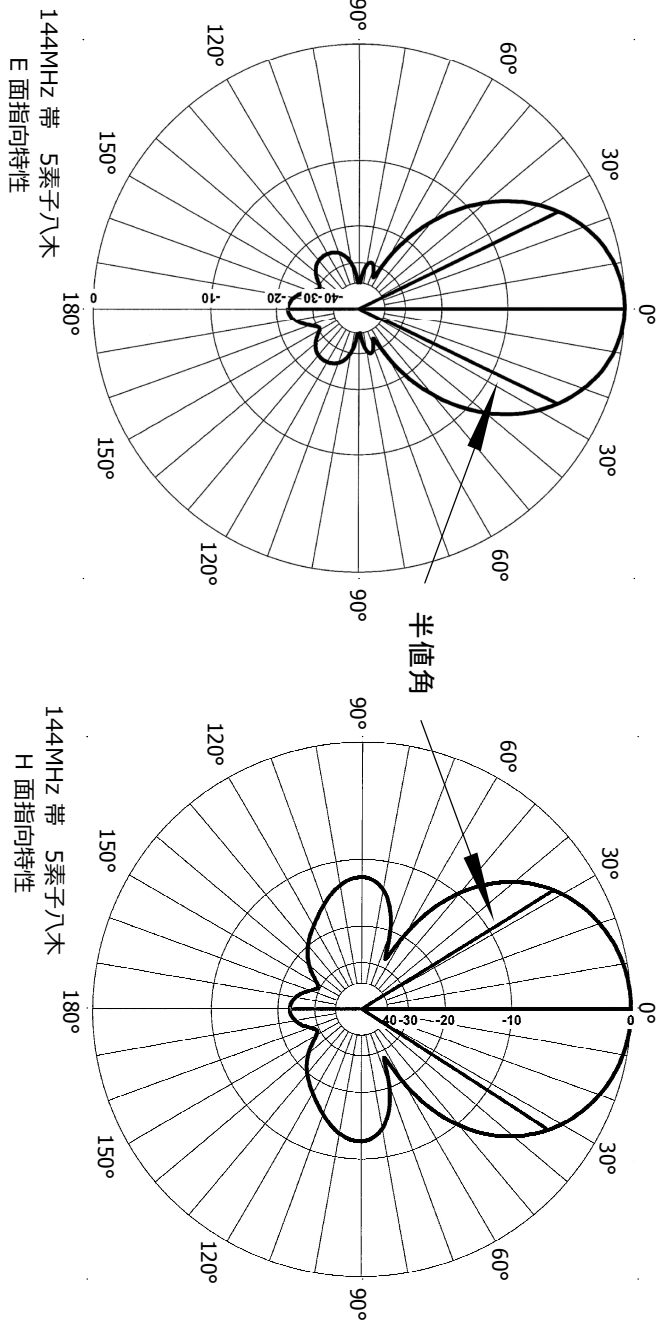


指向性参考例図



△使用上の注意

- アンテナの調整は正しく行ってください。SWRが悪い場合、発熱・故障や性能低下の原因になります。
- 蝶ナットを緩めたとき、外れる場合があります。
- 本製品はアマチュア無線用として設計されておりますので、アンテナとしての目的以外に使用しないでください。
- 規格仕様以上で使用しないでください。発熱や破損の原因になります。
- お客様自身での修理・改造は、故障の原因になることがあります。

【点検とお手入れ】

- 運用の前に、正常に働いていることを確認してお使いください。
- 定期的に取付ねじ・金具類が緩んでいないかをチェックして、緩んでいる部品などは増し締めを行ってください。
- 経年変化などによる強度不足や変形した部品は、必ず取り替えてご使用ください。

【アンターサービス】

- 不慮の事故などによる各部品の破損、長期間のご使用による劣化交換のために補充部品を用意しております。
- お問い合わせの販売店などにお申し付けください。
- 取り付け組立方法・その他技術的なご質問などは、弊社技術部までお問い合わせください。

■品質向上のため、予告なく仕様および外観を変更することがありますのでご了承ください。

コメント株式会社
〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻 4-18-2
TEL 048-839-3131 (代) FAX 048-839-3136
http://www.comet-ant.co.jp

MODEL CYA25711 144/430MHz帯共用八木アンテナ

取扱説明書

Dual band yagi beam antenna for 144/430MHz band.

お買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

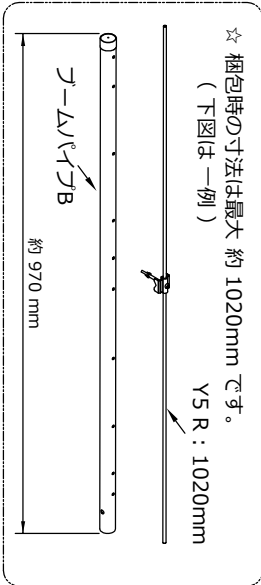
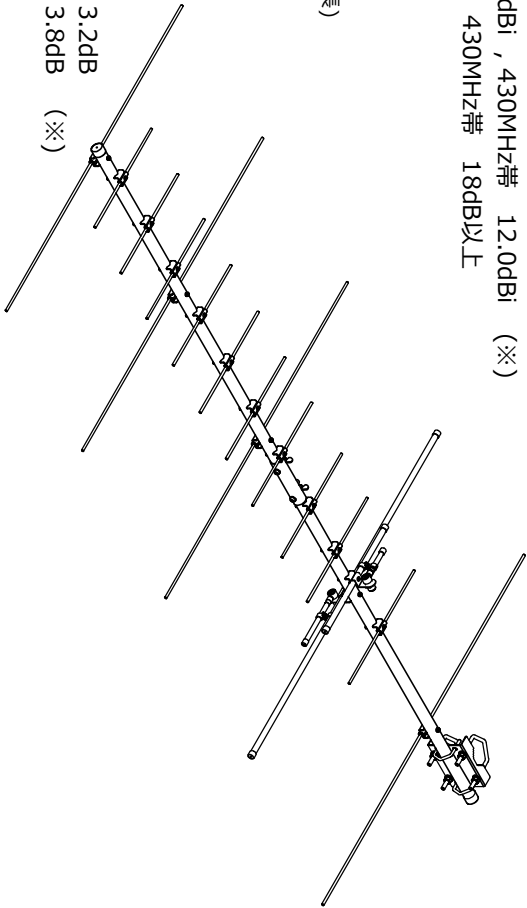
安全にお使いいただくために！
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいてください。

【特長】

- 144MHz帯・430MHz帯 2種類の八木アンテナを、コンパクトに1つのブームに配置しました。
- アルミ製ブームやエレメントを採用していますので軽量です。
- 蝶ナットを使用していますので、組立・分解が容易で省スペースにまとめることができます。
- クロスアジャスト金具の取付方向を変えることで、垂直・水平偏波両方の設置に対応しています。
- 2分配器が付属していますので、144MHz/430MHz 両方のアンテナがすぐに使用できます。

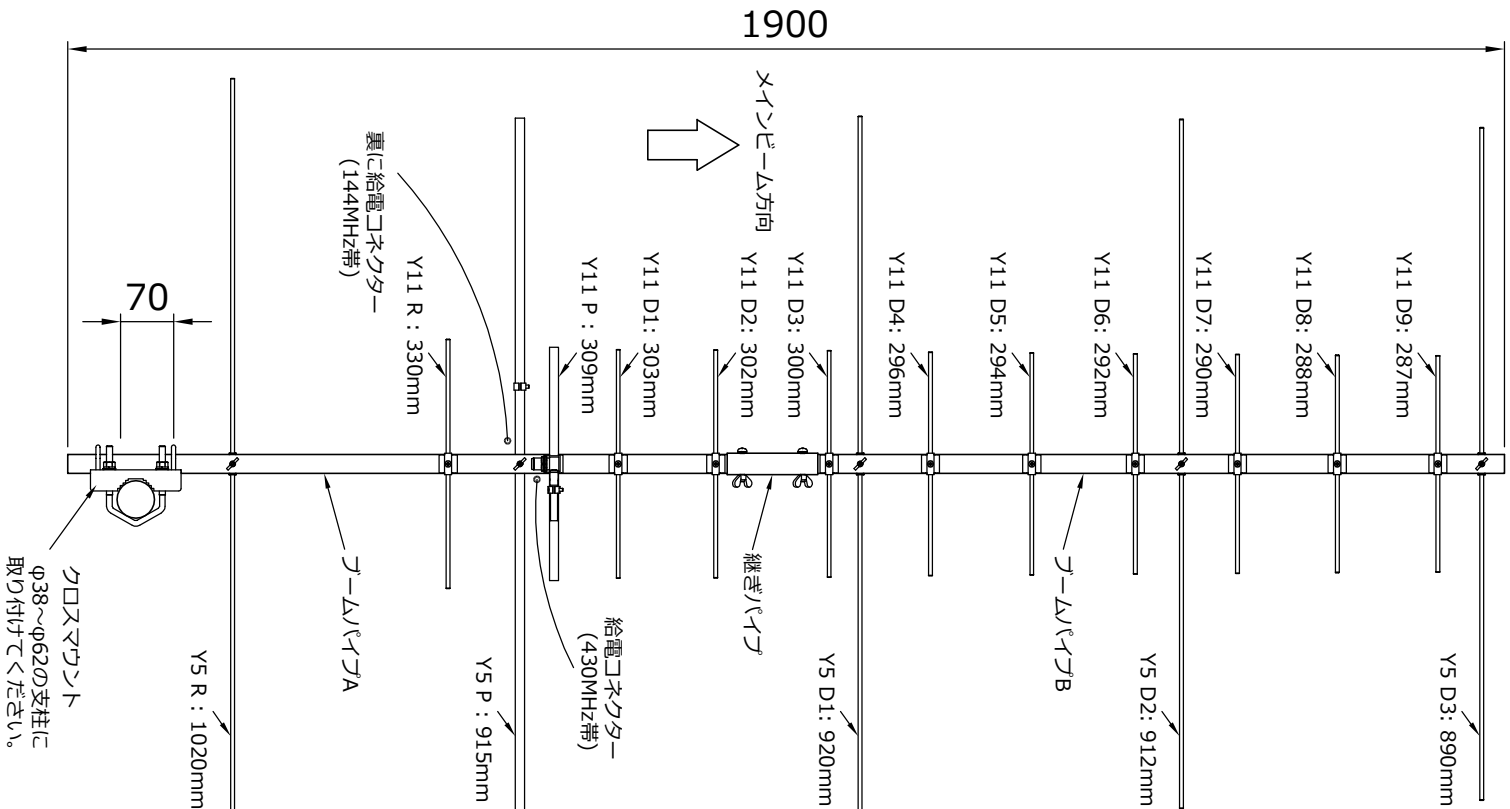
【性能諸元】

- 周波数帯域：144～146MHz, 430～440MHz
- 素子数：144MHz帯 5素子, 430MHz帯 11素子
- アンテナ利得：144MHz帯 10.8dBi, 430MHz帯 12.0dBi (※)
- F/B比：144MHz帯 15dB以上, 430MHz帯 18dB以上
- 耐入力：100 W (FM)
- インピーダンス：50 Ω
- VSWR：1.5 以下
- 全長：1.9 m (アンテナブーム長)
- エレメント最長部：1.02 m
- 質量：約 2.0 kg (アンテナ本体)
- 耐風速：最大瞬間風速 30 m/s
- 受風面積：0.097(m²)
- 回転半径：約 1.85m
- コネクタ：M-J 型
- 2分配器 分配損失：144MHz帯 3.2dB 430MHz帯 3.8dB (※)



△作業・設置上の注意

- 屋根の上など高所作業の際には複数人で行い、落下事故やけが防止のために安全帽・安全帯を着用し作業してください。
- 取付ネジ・金具類はしっかりと締め付け固定し防水処理などを施してください。固定が悪い場合には、地震や強風などの振動で緩み、落下事故や短絡火災の原因になることがあります。
- 高圧電線や鉄塔・建造物など近くに障害物のない場所に設置してください。近くに障害物があると、誘導雷で焼損したり性能低下やSWRが悪化することがあります。
- 接続ケーブルのコネクタとバランのコネクタと同じ種類であることを確認してください。

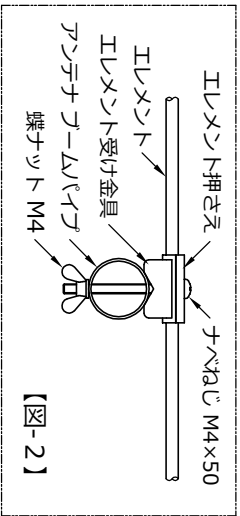


【図-1】：11素子八木取付側面図

エレメントをブームパイプに取付後、添付のキヤップを付けてください。

パーツリスト

部品名	寸法・詳細	数量	部品名	寸法・詳細	数量
1 ブームパイプ A	φ25 × 約 932 mm	1	9 5素子八木給電部	シヨート金具 (長) 付 エレメント長 915mm	1
2 ブームパイプ B	φ25 × 約 968 mm	1	10 11素子八木給電部	シヨート金具 (短) 付 エレメント長 309mm	1
3 継ぎパイプ	φ28 × 120 mm	1	11 ナベねじ	M4×50	14
4 ナベねじ	M6×40 ブーム用	2	12 蝶ナット	M4 用	14
5 蝶ナット	M6 用 ブーム用	2	13 ケーブル形 2分配器		1
6 増設器・反射器エレメント	14 種	各 1	14 クロスアウメント金具	角U字ボルト・ナット付	1 式
7 エレメント受け金具		14	15 自己融着テープ		3
8 エレメント押さえ金具		14			



【図-2】

【組み立て方法】

1. アンテナのブームパイプA及びブームパイプBに図-2を参考にエレメントを取り付けます。メインブーム方向に行くに従い、エレメントが短くなるようにします。
2. ブームパイプAとブームパイプBを継ぎパイプを付属のナベねじと蝶ナットで継ぎます。
3. エレメントが同一線上に揃うように、位置を微調整してください。
4. ねじ・ナット類のゆるみがないかを、確認してください。
5. 各給電部のコネクタースタターに、2分配器ケーブルを接続します。ケーブルはどちらの給電部のコネクタースタターに付けても構いません。
6. ビニールテープ等で分配器を固定してください。
7. クロスアウメントを用いて、アンテナをお手持ちの支柱に固定します。
8. SWR計で確認しながら運用してください。

※コネクタースタターの接続部には、防水のために自己融着テープを約2倍程度に引き伸ばしながら巻き付け、ビニールテープを上巻きして防水処理をしてください。

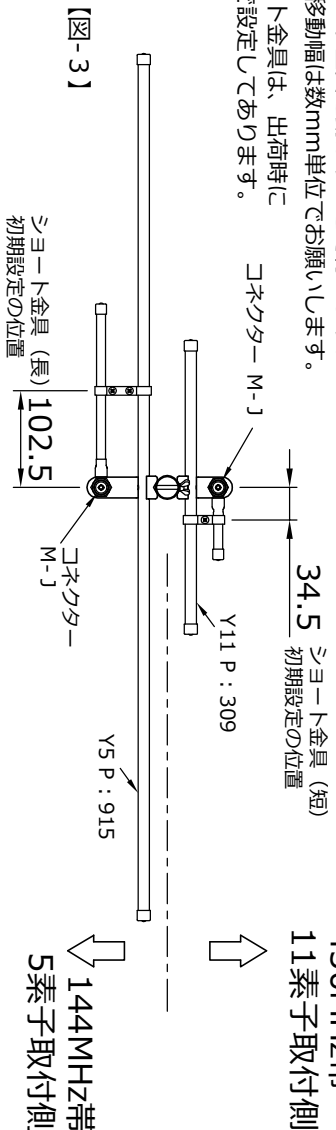
△取扱い・運用上の注意

- アンテナ取付け・取外しやエレメント調整時、目などをついたりしないよう取扱いください。
- 送信時にはアンテナに触らないでください。火傷する場合があります。
- アンテナのコネクタースタター・固定ネジ類はしっかりと締付け、はずれますと障害・器物破損事故の原因になります。
- 周囲に障害物などのないことを確認し、使用してください。事故の原因になります。

【周波数調整方法】

SWRの調整はシヨート金具を動かすことで行います。特に144MHz帯の移動幅は数mm単位でお願いします。

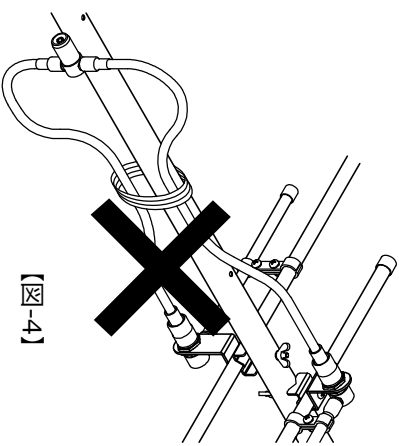
- 給電部のシヨート金具は、出荷時に図-3の寸法で設定してあります。



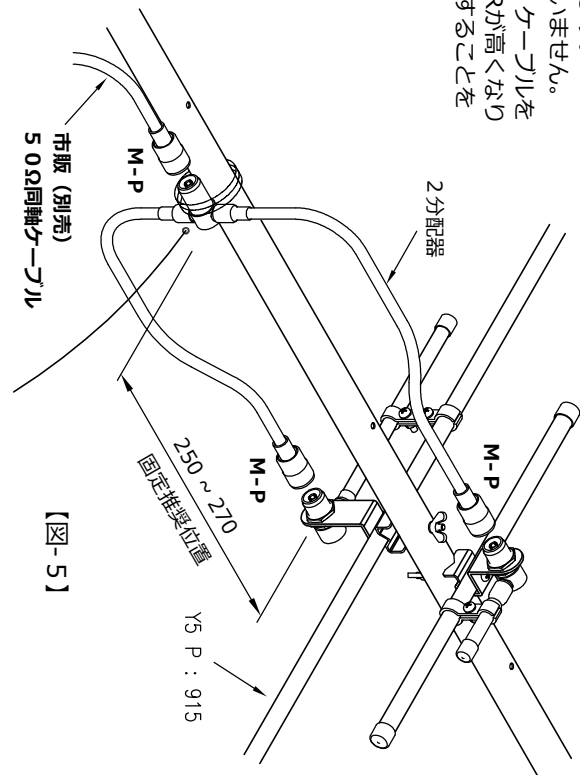
【図-3】

【2分配器取付方法】

1. 各給電部のコネクタースタターに2分配器ケーブルを接続します。
2. ビニールテープ等で2分配器を固定してください。ケーブルを図-4のようにブームに密着（沿わす）させると、SWRが高くなります。図-5を参考に、SWR計等で確認しながら固定することをお勧めします。



【図-4】

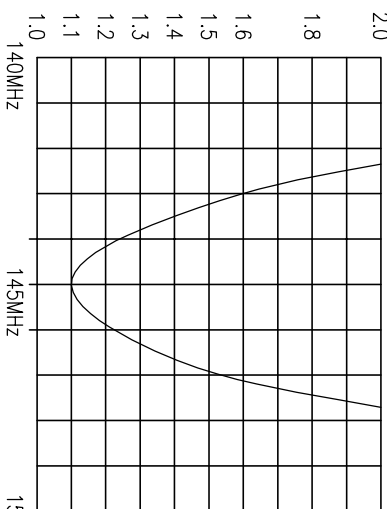


【図-5】

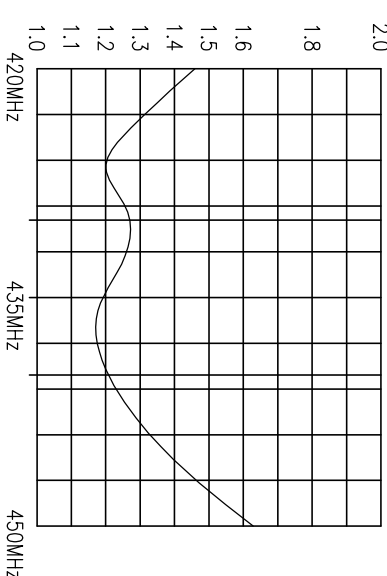
3. 2分配器に無線機からのケーブルを接続します。ケーブルは素子への干渉とコネクタースタターへの負荷が掛からないように固定してください。

※コネクタースタターの接続部には、防水のために自己融着テープを約2倍程度に引き伸ばしながら巻き付け、ビニールテープを上巻きして防水処理をしてください。

SWR特性 (144MHz帯)



SWR特性 (430MHz帯)



※周波数特性は設置方法や周囲の環境により変動します。

△取扱い・運用上の注意

- アンテナ取付け・取外しやエレメント調整などのとき、目などをついたりしないよう取扱いください。
- 送信時にはアンテナに触らないでください。火傷する場合があります。
- コネクタースタター・固定ネジ類はしっかりと締め付け、はずれますと障害・器物破損事故の原因になります。
- 周囲に障害物などのないことを確認し、使用してください。事故の原因になります。